

NPO 法人近畿水の塾 2019 年度総会次第

日時：令和元年 6 月 29 日（土）13 時 30 分～14 時 20 分

場所： 尼崎市中小企業センター 402

審議事項：

第 1 号議案 2018 年度事業報告及び活動決算について

第 2 号議案 2019 年度事業計画（案）及び活動予算（案）について

第 3 号議案 役員を選任について

※なお、総会后、14時30分～17時まで、安田理事による講演「尼崎城再建プロジェクト」や尼崎城等の散策を予定しています。

第 17 期（平成 30 年度）事業報告 （平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

特定非営利活動法人 NPO 近畿水の塾は、第 17 期（平成 30 年度）の事業について、以下のとおり実施した。

1. 人と水との関わりに係る調査及び研究

○継続的な公開研究会「河川塾」の開催

【実施内容】・「私の関わる水環境」などをテーマに、会員を含め会員外の各自の仕事や市民活動等の取り組み紹介を「河川塾」で実施した。

【実施場所】 Atelier（アトリエ）CK

【実施期間】 平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日（月 1 回）

2. 人と水との関わりに係る事業の企画及び実施

○各種イベント、出前講座の実施

【実施内容】・近畿各地から水環境保全に関心と関わりをもつ市民が集い、淀川流域の自然・文化・歴史を学ぶとともに、各地で進めている水環境保全活動を紹介し合い、よりよい河川環境保全と流域間連携のあり方について討論する「近畿水環境交流会 in 点野（寝屋川市）」（8/4-8/5）を開催した。

・猪名川・藻川まつり（9/23）を企画実施した（E ボートによる水面利用イベントについては川の増水により中止）。

・猪名川・藻川の合流点にある、「豆島」を活かした地域活動に参画した。

【実施場所】 藻川等

【実施日時】 平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

3. 人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助

【実施内容】・天若湖アートプロジェクト 2018 に後援した。

【実施場所】 京都府南丹市日吉町日吉ダム天若湖畔

【実施日時】 平成 30 年 6 月 2 日～3日

4. 人と水との関わりに係る専門家、実践者、市民及び各種機関等の交流の場の創出

○ホームページの作成・更新、ニュースレターの作成等

【実施内容】・河川塾のお知らせ等、積極的に情報発信した。

【実施場所】 事務局

【実施日時】 随時

○他団体との交流やネットワークの拡大

【実施内容】・「全国水環境交流会」に積極的に参画した。

・「第 11 回いい川・いい川づくりワークショップ（12/1・2 帯広市）」等全国的なネットワークにも積極的に参画した。

・神戸「農都ネット」と情報交換を行った。

・第 12 回淡海川づくりフォーラム（2/3）への選考委員の派遣など積極的に参画した。

・第 29 回トンボサミット（6/9・10 洵沼市）に参加した。

・学生等のインターンシップにより、次世代につなげる連携を行った。

【実施場所】 全国

【実施日時】 随時

第17期（2018年度）特定非営利活動に係る活動決算

特定非営利活動法人近畿水の塾

2018年4月1日から2019年3月31日

(単位：円)

科 目	決算額	予算額	差異	備 考 (決算)
I 収入の部				
1 入会金・会費収入				
正会員会費収入	121,000	135,000	△ 14,000	3千*39、2千*2
賛助会員会費収入	6,000	8,000	△ 2,000	1千*6
2 寄付金収入	0	0	0	
3 助成金収入	0	0	0	
4 事業収入				
調査・研究事業	10,500	20,000	△ 9,500	河川塾
シンポジウム等企画・実施事業	500	10,000	△ 9,500	総会後記念講演、拡大版
助言・支援事業	0	5,000	△ 5,000	
交流創出事業	0	5,000	△ 5,000	
5 その他収入				
受取利息	8	1,000	△ 992	
当期収入合計 (A)	138,008	184,000	△ 45,992	
前期繰越収支差額	1,007,851	1,008,000	△ 149	
収入合計 (B)	1,145,859	1,192,000	△ 46,141	
II 支出の部				
1 事業費				
調査・研究事業	54,284	50,000	4,284	河川塾講師謝礼、会場費
シンポジウム等企画・実施事業	171,140	200,000	△ 28,860	総会後、拡大版講師謝礼等
助言・支援事業	0	10,000	△ 10,000	
交流創出事業	0	10,000	△ 10,000	
その他事業	0	0	0	
2 管理費				
広告宣伝費	0	0	0	
給与手当	0	0	0	
水道光熱費 (事務局)	0	0	0	
通信費	13,702	10,000	3,702	切手、振込料
旅費交通費	13,920	30,000	△ 16,080	
事務用品費	993	6,000	△ 5,007	コピー代、封筒
会議費	28,000	28,000	0	理事会会場費
減価償却費	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
諸会費	0	0	0	
寄付金	30,000	30,000	0	尼崎城一口城主寄付
雑費	0	0	0	
3 予備費	0	10,000	△ 10,000	
当期支出合計 (C)	312,039	384,000	△ 71,961	
当期収支差額 (A-C)	△ 174,031	△ 200,000	25,969	
次期繰越収支差額 (B-C)	833,820	808,000	25,820	

第 18 期（2019年度）事業計画 （2019年4月1日～2019年3月31日）

特定非営利活動法人 NPO 近畿水の塾は、第 18 期（2019 年度）の事業について、以下のとおり計画する。

1. 人と水との関わりに係る調査及び研究

○継続的な公開研究会「河川塾」の開催

- 【実施内容】・「私の関わる水環境」などをテーマに、会員を含め会員外の各自の仕事や市民活動等の取り組み紹介を「河川塾」で実施する。
・近畿各地で、川歩きなどフィールドワークを積極的に実施する。

【実施場所】 Atelier（アトリエ）CK 等

【実施期間】 2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日（月 1 回程度）

2. 人と水との関わりに係る事業の企画及び実施

○各種イベント、出前講座の実施

- 【実施内容】・「琵琶湖・淀川流域圏シンポジウム in 大阪一治水・環境・文化について考えようー」（5/18）に協力する。
・近畿各地から水環境保全に関心と関わりをもつ市民が集い、淀川流域の自然・文化・歴史を学ぶとともに、各地で進めている水環境保全活動を紹介し合い、よりよい河川環境保全と流域間連携のあり方について討論する「近畿水環境交流会 in 宇治川」（7/27-7/28）を開催する。
・猪名川・藻川まつり（9 月下旬）の中で、E ボートによる水面利用イベントを企画実施する。
・猪名川・藻川の合流点にある、「豆島」を活かした地域活動に参画する。

【実施場所】 藻川等

【実施日時】 2019 年 4 月 1 日～2020 年 31 年 3 月 31 日

3. 人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助

【実施内容】・天若湖アートプロジェクト 2019 に後援する。

【実施場所】 京都府南丹市日吉町日吉ダム天若湖畔

【実施日時】 2019 年 6 月 1 日

4. 人と水との関わりに係る専門家、実践者、市民及び各種機関等の交流の場の創出

○ホームページの作成・更新、ニュースレターの作成等

- 【実施内容】・川に関わる活動をしている団体や個人を紹介するコーナーやコラムなどを企画し内容を充実させる。
・ニュースレターを 2 回程度発行する。

【実施場所】 事務局

【実施日時】 随時

○他団体との交流やネットワークの拡大

【実施内容】・「全国水環境交流会」に積極的に参画する。

- ・「第 12 回いい川・いい川づくりワークショップ京滋大会（10/5-10/6 大津市・京都市）」、「“いい川” づくり研修会・近畿」等全国的なネットワークにも積極的に参画する。
- ・神戸「農都ネット」と情報交換を行う。
- ・第 30 回トンボサミット（9/7-9/8 横浜市）に参画する。
- ・大島宮窪の川崎良重さんと情報交換を行う。
- ・学生等のインターンシップにより、次世代につなげる連携を行う。

【実施場所】 全国

【実施日時】 随時

第18期（2019年度）特定非営利活動に係る活動予算案

特定非営利活動法人近畿水の塾

2019年4月1日から2020年3月31日

(単位：千円)

科目	予算額	前年度決算額	差異	備考 (予算額)
I 収入の部				
1 入会金・会費収入				
正会員会費収入	135	121	14	3千円×45
賛助会員会費収入	8	6	2	1千円×8
2 寄付金収入	0	0	0	
3 助成金収入	0	0	0	
4 事業収入				
調査・研究事業	20	11	10	
シンポジウム等企画・実施事業	10	1	10	
助言・支援事業	5	0	5	
交流創出事業	5	0	5	
5 その他収入				
受取利息	1	0	1	
当期収入合計 (A)	184	138	46	
前期繰越収支差額	834	1,008	△ 174	
収入合計 (B)	1,018	1,146	△ 128	
II 支出の部				
1 事業費				
調査・研究事業	50	54	△ 4	河川塾講師謝礼、会場費
シンポジウム等企画・実施事業	200	171	29	総会后、拡大版講師謝礼等
助言・支援事業	10	0	10	
交流創出事業	10	0	10	
その他事業	0	0	0	
2 管理費				
広告宣伝費	0	0	0	
給与手当	0	0	0	
水道光熱費	0	0	0	
通信費	20	14	6	切手、振込料
旅費交通費	30	14	16	
事務用品費	6	1	5	コピー代、封筒
会議費	28	28	0	理事会会場費
減価償却費	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
諸会費	0	0	0	
寄付金	0	30	△ 30	
3 予備費	10	0	10	
当期支出合計 (C)	364	312	52	
当期収支差額(A-C)	△ 180	△ 174	△ 6	
次期繰越収支差額(B-C)	654	834	△ 180	

決 算 報 告 書

第 17 期

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

NPO法人 近畿水の塾

貸借対照表

NPO法人 近畿水の塾

平成31年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流動資産】	833,820	負債の部計	
現金及び預金	833,820		
		資 本 の 部	
		【資本金】	200,000
		【利益剰余金】	633,820
		当期未処分利益	633,820
		(うち当期利益)	(Δ174,031)
		資本の部計	833,820
資産の部計	833,820	負債及び資本の部計	833,820

損 益 計 算 書

自 平成30年 4月 1日

NPO法人 近畿水の塾

至 平成31年 3月31日

科 目	金 額	
[経常損益の部]		円
(営業損益の部)		
【売上高】		138,000
【売上原価】		
仕入高	225,424	
合計	225,424	225,424
売上総利益		△87,424
【販売費及び一般管理費】		86,615
営業利益		△174,039
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受取利息	8	8
経常利益		△174,031
税引前当期利益		△174,031
当期利益		△174,031
前期繰越利益		807,851
当期末処分利益		633,820

販売費・一般管理費

自 平成30年 4月 1日

NPO法人 近畿水の塾

至 平成31年 3月31日

科 目	金 額	
		円
事 務 用 品 費	993	
旅 費 交 通 費	13,920	
通 信 費	13,702	
会 議 費	28,000	
寄 付 金	30,000	
販売費及び一般管理費		86,615

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人 近畿水の塾

2019年3月31日現在(単位 円)

科目	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金	0	
普通預金	833,820	
流動資産合計		833,820
2 固定資産		
一括償却資産	0	
固定資産合計		0
資産合計		833,820
II 負債の部		
1 流動負債		
前受金	0	
短期借入金	0	
流動負債合計		0
負債合計		0
2 資本金		
資本金合計	200,000	
負債・資本合計		200,000
負債・資本合計		200,000
正味財産		633,820

監査報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第17期事業年度の活動決算書、貸借対照表、財産目録、事業報告を監査した結果、適正かつ正確であることを認めます。

令和元年 6月11日

特定非営利活動法人近畿水の塾

監事（署名・捺印） 小峰 朋子 

2019年度 役員候補名簿

特定非営利活動法人近畿水の塾

役職名	氏名
理事	足立 崇博
理事	磯貝 猛
理事	久保田 洋一
理事	白樫 誠治
理事	西河 嗣郎
理事	疋島 巖
理事	福廣 勝介
理事	南 隆雄
理事	安田 博之
監事	小峰 朋子

※ 理事あいうえお順

2018年度 役員名簿

特定非営利活動法人近畿水の塾

役職名	氏名
理事	足立 崇博
理事	磯貝 猛
理事	久保田 洋一
理事	白樫 誠治
理事	西河 嗣郎
理事	疋島 巖
理事	福廣 勝介
理事	南 隆雄
理事	安田 博之
監事	小峰 朋子

※ 理事あいうえお順